

# 特定非営利活動法人都市災害に備える技術者の会

## 平成21年度定期総会議事録

開催日時：平成21年7月11日（土）14：00～15：00

場 所：(財)神戸国際協力交流センター

司 会：太田英将事務局次長

議 長：室崎益輝理事長

議事録署名人：伊藤東洋雄事務局次長，太田英将事務局次長

### 1. 議 案

第1号議案：「平成20年度(第5期)事業経過報告および会計決算報告」

第2号議案：「平成20年度(第5期)会計監査報告」

第3号議案：「平成21年度(第6期)事業計画案および会計予算案」

### 2. 議事報告

1) 室崎理事長より開会の挨拶があった。

2) 太田事務局次長より本日総会の出席状況の報告があった。出席者15名，委任状数29名，出席者・委任状総数44名，会員総数60名。定款により，総会は会員の1/2以上，すなわち30名以上の出席で成立するため，本日の総会は成立する旨の宣言があった。

3) 総会の議長として，本日出席した会員のうちから，室崎理事長を選出した。

4) 議事録署名人として，伊藤事務局次長，と太田事務局次長を選出した。

### 3. 議事内容

1) 第1号議案について，総会議案書に基づき伊藤事務局次長より説明があった。

この中で，WGの活動について補足説明があった。

WG-Aの防災カフェは出席者が約20名であったこと，WG-Cは今後WG-Dと合同で活動すること。また，WG-Dでは，出前講義等を通して若者たちに広く技術的知識を伝承する活動に積極的に取り組んでいることなど。

その後第2号議案について，鹿田監事より収支決算が妥当である旨の監査報告があった。（清水、鹿田両会計監事署名入）

以上について賛成多数により原案通り承認された。

2) 第3号議案について，総会議案書に基づき伊藤事務局次長より説明があった。

この中で，本資料作成後具体化した3つの事案が紹介された。

① 奈良県王寺町泉の広場教室で9月19日に小学生とその父兄を対象として「防災について学ぼう！—大地震、君は生き残れるか—」の開催。

② 王寺町立王寺小学校の5年生113名を対象とした出前講座を11月5日に開催。

③ 11月～12月にかけて，王寺町自主防災組織役員を対象とした「クロスロードゲーム」の指導。

本議案は賛成多数により承認された。

### 4. その他

- ①当NPO法人の今後の活動の方向として、地方自治体の組織の立ち上げに積極的に尽力する。
- ②小学生や幼稚園児などを対象とした出前講義などでは、6月4日に開催した第3回「地域防災防犯展」大阪でパネリストを勤めた河田のどか氏や西林幸三郎氏と連携することも考えておく。
- ③クロスロードゲームの技術的側面から見た補足説明資料作成などにも取り組むのも有意義である。
- ④他の技術者たちで組織しているNPO法人との連携も進めていくことを今後検討してはどうか。
- ⑤当NPO法人が進めている事業の方向性や成果について、また、毎年行っているシンポジウムの企画立案等のため定期的に幹事会（仮称）を開くことも必要ではないか。  
等の意見があった。

以上をもってすべての議事が終了し、議長を解任した。その後、末利事務局次長による閉会挨拶があり、太田事務局次長は閉会を宣言した。

平成21年7月11日

(議事録署名人) 伊藤東洋雄  
太田英将

定期総会後の特別講演

「近畿地方整備局における防災対策について」（近畿地方整備局防災課長 森下 淳）  
講演要旨

- 1 わが国が抱える自然災害リスク  
わが国は世界有数の地震多発国である。  
近年地球規模の気候変動の影響を受けゲリラ豪雨などによる被害が多くなっている。
- 2 近畿地整の防災に関する取り組み
  - 2-1 情報戦略による被害の最小化
    - ・被害想定シミュレーションの実施
    - ・自治体のハザードマップ作成支援
    - ・出前講座（学校、地元自治会、NPO等）
    - ・防災教育用教材の作成
  - 2-2 迅速な対応による被害の最小化
    - ・対策本部車・・・災害発生時の現地対策本部として使用する。
    - ・排水ポンプ車・・・内水の排除や洪水の排除に使用する。
    - ・夜間監視照明設備・・・災害地での夜間復旧支援。
    - ・衛星通信車・・・地上情報通信網を使うことなく被災地情報を送信する。
    - ・造水車・・・海水、湖沼水等あらゆる水からクリーンな水を造る。
    - ・応急組み立て橋・・・道路の損壊等の災害時に交通路を緊急確保する。
    - ・その他の災害対策用機械・・・災害対策用ヘリ、水陸両用車、土のう造成機。
  - 2-3 緊急災害対策派遣隊の設置（TEC-FORCE）

これまでの国による緊急支援はその都度体制をとって対応していたが、あらかじめ地整職員等をTEC-FORCE隊員として任命するなど、事前に人員・資機材の派遣体制を整備し、迅速な活動を実施するとともに、平時にシミュレーション、訓練を行うことによりスキルアップを図る。

    - ・活動内容・・・被災状況調査、現地対策本部運営支援、高度な技術指導、応急対策・被害の拡大防止、その他、復旧・復興にかかる支援。